

# 福祉最前線

— 現場レポート —



ダブルケアかわさき  
代表 田中夏実

◎このコーナーでは県内各地の福祉関連の当事者・職能団体等の方々から日ごろの取り組みをご寄稿いただきます。

すくらむ21（川崎市男女共同参画センター）で開催されたダブルケアセミナーへの参加を機に、ダブルケアやケアと暮らしについて考え、輪を広げるチームとして2019年に結成。

〈連絡先〉 info@dcare-kawasaki.net  
 <https://dcare-kawasaki.net/>

## 当事者と支援者の懸け橋に

ダブルケアかわさきは、2018年12月にすくらむ21（川崎市男女共同参画センター）で開催されたダブルケアセミナーに参加したメンバーを中心に結成された、任意団体です。「ケアを取り巻く現状や当事者の声を社会やまちに発信し続けたい」と考え活動を開始しました。主な活動では、川崎市男女共同参画センターとの協働事業として、毎月約一回ダブルケアについての小規模な勉強会を開催しております。

勉強会では、ダブルケアとは何か、ケアをめぐる現状、乗り切るためのヒントなどを共有したり話し合ったりしています。ダブルケアは一般的には「育児と介護の同時進行」と捉えられていることが多いのですが、実際にはそれだけではなく、家族や親族等、親密な関係における複数のケア関係や、自分自身へのケアなども含む「複合的ケアとその周辺の課題」のことを指します。

100人いたら100通りあると言われているのがダブルケアの実態です。そのケアに携わる方々の声はどれも貴重で、毎回気づきと感動があります。ダブルケアは未経験だけでも知っておきたいと参加して下さる方もいて、未来のことに関心を寄せて下さることに明るい兆しを感じます。勉強会の中で必要だと感じた方には、個別で話を伺ったり支援の窓口へおつなぎしたりすることもあります。

また、ありがたいことに支援者の方にも参加して

頂けているので、ケア当事者の方にとっては心強く希望が持てますし、支援者の方には現場の生の声を聴くことのできる機会になっていると感じています。

課題としては、当事者の方が気持ちを吐き出せる場が身近にもっと必要だということや、窓口相談に行くにもちょっと勇気とエネルギーがいるということ、自分を大事にしたり「助けて」を言ったりすることがなかなか難しいことだと感じます。そんな現場の声を市政に届けていくことも、私たちに出来ることではないかと考えています。

コロナ前は川崎市内をキャラバンの様に回って勉強会を開催していましたが、現在は当面の間オンラインにて開催しております。会場に足を運びづらいダブルケア最中の方や、遠方の方にも参加して頂けるようになりました。私たちはケアの専門家ではないけれど、だからこそフラットな目線で、ケアについて考え仲間たちとつながり続けたいと思っています。

### =ダブルケアかわさきの活動=

- ① 私たちの身近なケアを学ぶ（プチ勉強会）開催
- ② 個別相談・個別支援の実施
- ③ 「ケア友」コミュニティ事業
- ④ 調査・情報収集
- ⑤ 情報発信・提言
- ⑥ 各種関係機関との情報交換・連携



防犯カメラ、AEDの販売・リースのほか、不審者侵入、火災発生など施設の異常検知と緊急通報に警備員が駆け付け対応し、被害拡大を早期に防ぎます。お気軽にご相談下さい。

京浜警備保障株式会社



代表取締役社長 岡本 誠一郎

本社 〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川 2-8-8 第一川島ビル

☎ (045)461-0101 (代表) FAX (045)441-1528

一般社団法人

神奈川県福祉研究会

福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理事 辻村 祥造 (☎045-311-5162)

同 西迫 一郎 (☎046-221-1328)

代表理事 八木 時雄 (☎042-773-9266)

2020年で創立60周年

印刷で  
色とりどりの社会へ

デザイン

印刷

ホームページ  
制作

KKI 株式会社 神奈川機器印刷所

<http://www.kki.co.jp/>

〒236-0004  
横浜市金沢区福浦2-1-12  
TEL 045(785)1700  
FAX 045(784)6902